

1	審議会名	第2回上田市スポーツ推進審議会
2	日 時	平成27年3月23日 午前10時から午前11時30分まで
3	会 場	上田駅前ビルパレオ5階第1会議室
4	出席者	小林会長、犬飼副会長、松本委員、依田委員、渡辺委員
5	市側出席者	教育次長、丸子地域教育事務所長(代理)、真田地域教育事務所長、 スポーツ施設係長、スポーツ推進係長、スポーツ推進係
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成27年3月30日
協 議 事 項 等		
1	開会(スポーツ推進係長)	
2	教育次長あいさつ	
3	会長あいさつ	
4	議事	
	(1)平成26年度上田市スポーツ推進事業について	
	(2)平成27年度上田市スポーツ推進事業について	
	(3)上田市のスポーツ施設について	
会長	平成26年度上田市スポーツ推進事業について事務局から説明をお願いします。	
事務局	平成26年度上田市スポーツ推進事業の説明	
会長	上田市の平成26年度スポーツ推進事業の説明があったが、いろいろのご意見・ご指摘・感じている事を各々の関係団体等がどのような状況で進んでいるのかを含めてお話を聞きたい。	
委員	ラグビーワールドカップの関係では、試合会場が選定され今後、キャンプ地の受付等が始まる。現時点ではキャンプ地として40地域程度の候補があるとのことだが、全てに誘致できるとは限らない。上田市でもキャンプ地を誘致するにあたりシティープロモーション室において新年度予算つけていただいているが、行政における横の連携を強化していくことにより、より迅速にスムーズに動けるのではないかと感じている。誘致に係る施設的な部分について具体的な話は出ていないが、施設面については、市内スポーツ施設の老朽化対策も含め早急に重点的に何が必要なのかを検討されたい。NHK大河ドラマ「真田丸」の関係も大事だが、スポーツの関係も二年後・三年後・五年後と先を見据え具体的に動いていただきたい。	
会長	今のご意見に対し市では現状としてどのように考えているか。	
教育次長	様々な論点があるなかで、合併前の旧真田町時代のラグビーやサッカー等の体育振興に関する担当セクションが、当時は産業関係のセクションであった。産業観光・スポーツ観光という位置づけの中で、施策が講じられてきた経緯がある。まず部局が違っていたという経緯があったために、まだ行政の中でもまとまりがなく、議論に深見が出ないということが現状となっている。 従って、施設整備についても、その施設が将来的に市民にどういう形で役に立つのかという議論にまでは行きつけていない状況である。 スポーツ施設を含め、市のいろいろな公共施設が老朽化しており、市全体のスポーツ施設の改修に加え、オリンピックやラグビーワールドカップのトレーニングセンターのようなものをどう関連付けていくのかという部分について議論が始まったばかりであり、まだ整理が付いていないという現状である。	
会長	体育協会としてもなかなか足を踏み込みにくい部分であるが、東京オリンピック、ラグビーワールドカップと開催時期は決まっているので、連携の必要性を強く感じている。	

委員	今の話題に関連し、ワールドカップだけでなく将来の健康とスポーツという部分に関して、地方創生予算の関係で業務委託を受け事業の実施について動き始めている。その中で、民間レベルのみで事業を進めていくことは難しい面もあり、行政も関わり、垣根を取り払い、良い方向へ進んでいただきたい。
会長	本年度の課題としてお願いしたい。
委員	長野県による武道館建設について県予算が可決されたが、先の見通しが付いていれば上田市でも施設誘致を県に働きかけられたのではないかと。他の数市町村が手を挙げている中で、上田市ではそのような動きはなかったのか。
事務局	県の武道館については、佐久市が土地を用意し候補地として手を挙げたと聞いている。上田市としては、その当時用地の確保ということが出来なかったという点で遅れを取り候補には至らなかった。現状として上田市としては武道館という具体的な話も出ていない。
委員	大きな先の見通しがあれば、すぐに情報をキャッチし行動に移せると思う。来年、再来年ではなく、10年後の姿を見据えることができるスポーツ施策を持つ必要があるのではないかと。東京オリンピックの開催が決まり、スポーツを取り巻く状況が変わってくるので、様々な補助金制度をチェックするなどチャンスを見逃さない姿勢で臨んでいただきたい。長野県の人事により、県スポーツ課長が東信教育事務所に就くということなので様々な情報をキャッチ出来ると思う。
委員	スポーツ推進委員が従来活動してきた中では、爆水RUNや上田古戦場ハーフマラソン等これまで続けてきた事業を成功させるために協力し取り組んできた。上小地域の4市町村のスポーツ推進委員では「スポーツレクリエーション祭」事業として各市町村を開催地に年4回開催した。このイベントについても長年も継続し実施することで大勢の一般の方にご参加いただけるようになった。このような大きい行事イベントについては、スポーツ推進委員も協力し合い積極的に活動しているが、人材育成を目的とした研修の部分については自分たちが学んで市民の皆さんに還元していこうという意識が不足しているように感じている。ニュースポーツが盛んになり、子どもから高齢者までを対象にしたものもある中で、自分たちの資質向上につながる研修等には積極的に参加していただきたいと思っている。
委員	ボランティアの皆さんにスポーツの推進が支えられていると感じている。当校のグラウンドでも小学生・中学生のサッカーチームが一年間練習に来ていたが、昨日久しぶりに見たらとてもたくましく成長していた。一方で、そのチームに関わってくれる人はボランティアであり、そのボランティアに支えられたおかげで競技者が成長したと感じた。施設の関係で言わせていただくと、佐久にサッカー場が出来、さらに正規の大きさではないが人口芝のグラウンドも完成した。高体連の陸上競技の東信大会も佐久で開催されるようになってしまった。施設があればという話では、上田市高校サッカーフェスティバルを開催して26年になるが、参加チームが年々減少している。過去には40校以上の参加があったが、施設面で他地域に比べ劣っていることも影響し、現在は県内外から8チームという状況。旅館組合からも参加チームを増やして欲しいと要望があるが、非常に残念だと感じている。先ほどもご意見があったが、10年後、20年後を見据えて予算の関係も含め検討していただきたい。ラグビー日本代表の菅平合宿で上田駅に到着した際の歓迎セレモニーでは当校のチアリーダーが参加し、少ない部員であったが一緒に写真を撮るなどとても喜んでいただいていた。このように、多くの競技団体が上田市を訪問することにより、市民のスポーツへの関心、競技への関心が高まっていくと感じている。現在、市内の高校にラグビー部が存在しないが、目の前でラグビーを観戦できる環境があるとラグビー部を新設しようという動きが出てくる可能性もあるのではないかと。若い世代、特に小さいジュニアの子どもたちが実際にスポーツを観る機会が多くあれば、そのスポーツの競技者も増えていくことと思う。施設の関係は予算面もあるが、オリンピックの関係では上田市もなんらかの形で参画していただきたい。

会長	皆様のご意見などにより本年度の成果や課題等を出していただいた。 続いて、平成 27 年度上田市スポーツ推進事業の説明をお願いしたい。
事務局	平成 27 年度上田市スポーツ推進事業の説明
委員	本年度の計画をお話いただいたが、提案等ご意見をいただきたい。
委員	<p>説明していただいた資料の基本目標という欄で「その他」も含め 5 つ分類されおり、それぞれの欄に「指導者の資質向上」という言葉が出てくる。「指導者の資質向上」について全体的に見直しを行い、子どもやスポーツ競技団体に対して効果で出るような連携を取ることはできないか。上田市内のスポーツ指導者に対し、スポーツ行政の現状を説明し、行政からの要望等を伝えたりする中で、全体での意思統一などを図ることでできれば良いと思う。</p> <p>ボランティア等のスポーツを支えていくという視点について、スポーツ推進計画にも記載されているが、例えばスポーツプレスの掲載記事として競技スポーツの話題だけではなく、ボランティアとしてスポーツを支える人の体験談や思いなどを記事にするも良いと思う。</p> <p>スポーツプレスの記事に関する感想として、女性の記事が少ないようにも感じる女子のスポーツ離れが特に深刻な状況でもあるので男女のバランスを良くしていただきたい。</p> <p>全国スポーツレクリエーション祭という行事に上田市からの参加もあったが、3 年程前からなくなってしまった。このような大きな大会に出なくなったのであれば、上田市でスポーツレクリエーション祭のような大会を開催し、市外や県外のチームに参加を呼びかけることも面白い企画になるのではないか。</p> <p>オリンピックでは、オリンピックレガシーとって大手企業がオリンピックが来ることで日本に何を残せるかという視点で様々な企画を出している。オリンピックレガシーに限らず、上田市の「スポーツレガシー」として上田市近郊の企業や団体に働きかけ、スポーツを推進することにより企業や団体に生み出されるメリットについて企画・提案をしてもらいそれを盛り込んでいくという手法もおもしろいと思う。</p> <p>企業を巻き込むことで産・学・官の連携にもつながり、企業としてもスポーツ行政に対して企画を出すということを若手の研修・トレーニングの場として活用していけばおもしろいのではないか。このような動きの広がりにより、スポーツを広げていこうという気持ちが市民に根付いていくと思っている。フェイスブック等の SNS を特に若い人たちは非常に見ているので有効に活用していただきたい。</p>
委員	<p>県のラグビー協会でも問題になっている点として、体罰の問題が挙げられている。教員の先生方については、指導等もあり体罰に関する問題について非常に敏感になってきているが、ボランティア等の外部指導者の方は思い入れが強い分、あるいは他との交流がない分、体罰について鈍感な部分がある。県のラグビー協会でも実際に体罰に対する講習を数回実施してきている。一生懸命な指導者ほど競技への思い入れが強く、体罰になり易い。どうしても自分の感覚で指導してしまう傾向にあるため、スポーツ界全体として講習会等で対策していければと思う。</p> <p>菅平と東京都スキー連盟が連携し、子どもを小さい頃から外へ連れ出して遊ばせようという取り組みを考えている。内容が具体的になったら教育委員会にも話をするので、可能な範囲で協力していただきたい。</p>
委員	<p>体罰の件は、長野県サッカー協会の規律委員会でも指導者の問題が出ている。実際に手を出す、出さないという話だけではなく、言葉の問題も出ている。何年か前に上田市の少年少女サッカー大会において審判に対する保護者の暴言があった。そういった体罰や（言葉を含む）暴力の部分については、注意を払っているし、各競技でも機会があれば対策となる活動が出来れば良いと感じている。地域のクラブ指導者への徹底が図れるよう各競技協会でも取り組む必要がある。</p> <p>スポーツプレスは非常に有効であり、学校でも掲示したり生徒に配布したりしている。先ほどの意見にもあったが、ボランティアで指導している方などをピックアップし記事とすることも良いのではないかと感じた。</p>

<p>委員</p>	<p>体罰を卒業研究のテーマとしている学生も毎年出ている。その内容として、自分がやらされてきた事、されてきた事により、成長したと感じている学生の数パーセントがある程度の体罰的な要素は必要だと感じているということが分かった。つまり、体罰により育ってきた子どもたちが指導者になっていくことで永久的に体罰が続いて行く可能性がある。心が通じていれば良いと言う人もいるが大きな間違い。スポーツを好きでやってきている方々が、その熱意により自分が体験してきたことを提供しようという気持ちはありがたいが、それだけではスポーツ文化が成り立たない時代となっている。例えば、日本サッカー協会が指導者制度を作り指導者を育成しているが、上田市でもそのようなスポーツ指導員の資格制度を作り、年代ごとの育成方針等を作成していくと上田市のスポーツ政策として育成の分野に関しては先進地としての先陣をきったと言えるかと思う。</p> <p>県では、保育園・幼稚園の幼児さんに向けて信州型自然保育制度を4月に立ち上げる。この制度では、1日のうち最低1時間は外で活動しなさいというのと、1日のうち3時間は外で生活をしてくださいという2段階で記載されている。この部分の扱い方に戸惑っている幼稚園・保育園が多いと聞いているが、例えば菅平などの自然の中で川遊びをするなど、自然の中で指導することができる指導員を育てるのもおもしろいかと思う。</p> <p>市として信州型自然保育制度というのを全市の保育園に広めていくということ、保育課とスポーツ課で連携をとることもいいのではないかと。雪が降ると子どもを外へ出さない保育士さんがいると聞くが、子どもは逆に雪を見ると大喜びする。子どもを積極的に外に出し、自然と体を動かすことができる環境づくりが必要ではないか。</p> <p>新しいイベントとして挙げられた太郎山登山競走はおもしろい企画だと感じた。トレイルランの大会を開催すると、全国から約2,000人が集まるという話も聞いている。爆水RUNに全国から参加者が来るように、上田市の自然環境を生かしたり上田市のお城等の文化環境を生かしたりすることで、スポーツや運動に関わる何かが生まれると良いと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>上田市内の高校でラグビー部がないとすると、小・中学校のところでラグビーの知識を植え付けるという場面も必要なのではと思う。</p> <p>スポーツ振興計画が平成23年度に完成し、5年が経過しようとしている時期にきている。いろいろな意味で実践の年ということになる。新しいものを加えながら年間取り組んでいき、5年経過したところで平成28年度を振り返りながら、いいものは取り入れていくというようなことが必要となる。一度見直しをする時期にもきていると感じている。</p> <p>以上のことを意識し、良い事例等あれば会議などで出していきたい。私は、体育協会の代表として出席しているが、現在、重点的にスポーツ推進課に要望しているのはスポーツ施設である。体育協会としてもできる限り早くスポーツ施設の整備を、特に体育館の新設を希望している。今年度、要望書を市へ提出する予定である。サントミュージアムが完成したが、もう一つの文化であるスポーツについても上田市に立派な物を是非お願いしたと要望していく。</p> <p>東信教育事務所が主催で開催した東信管内のスポーツ指導者連携会議については非常にいい企画だと感じた。上田市でも独自に同じようなものを開催してもいいのではないかと。可能であれば今年度、実施することで、小・中・高の学校と各スポーツクラブ・スポーツ推進委員等が一同に介し、上田市の課題等を話すこともひとつの良い機会となるのではと考えている。</p> <p>続いて、「上田市のスポーツ施設」について説明をお願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>上田市のスポーツ施設について説明</p>
<p>会長</p>	<p>スポーツ施設に関する検討資料について説明があった。</p> <p>現存のスポーツ施設が全体的に老朽化しているということで、一度にすべてをとすることは不可能であり、どこを優先に考えていくかという中で上田城跡公園体育館の説明があった。</p> <p>スポーツ施設整備構想について早目に予算をつけ実施していただきたい。</p>

事務局	ただ今お示したものは構想案ということである。この内容の限りということではなく、今後の体育協会等を含めた打合せによりさらに検討していく。今の時点でという話であるので今後いろいろな観点からご意見を聞きながら進めていきたい。たたき台を示す事で様々なご意見を頂きたいという趣旨をご理解いただきたい。
-----	---

5 閉会（スポーツ推進係長）

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。